

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 10 月 23 日

札幌地方裁判所民事第 4 部

裁判所書記官 村 井 緑

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 11 月 6 日から 令和 8 年 11 月 16 日まで
開札期日	日 時 令和 8 年 11 月 19 日 午前 10 時 00 分 場 所 札幌地方裁判所別館 4 階開札場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 11 月 25 日 午前 9 時 20 分 場 所 札幌地方裁判所民事第 4 部
特別売却 実施期間	令和 8 年 11 月 24 日から 令和 8 年 11 月 27 日まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 10 月 23 日から当庁記録閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和8年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	24, 220, 000 19, 376, 000	一括	4, 844, 000	136, 305	30, 026
1	1, 090, 000				
2	23, 130, 000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | 苦小牧市青雲町一丁目 |
| | 地 番 | 4 番 2 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 4 7. 9 5平方メートル |
| 2 | 所 在 | 苦小牧市青雲町一丁目 4 番地 2 2 |
| | 家屋 番号 | 4 番 2 2 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 6 8. 7 3平方メートル
2 階 6 6. 2 4平方メートル |



注 意 書

- 1 本件の入札には、令和2年4月1日に施行された改正民事執行法第65条の2により、暴力団員等に該当しないこと等の陳述書が必要です。

陳述書の提出がない場合には入札が無効となります。また、陳述書等の記載に不備があった場合、入札が無効になる場合があります。陳述書下欄の注意事項をよくお読みください。

無効になる入札が散見されています。無効な入札にならないようご注意ください。

(無効になる入札例)

- 陳述書や陳述書別紙の氏名に「フリガナ」がない。
- 生年月日の記載がない。
- 「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者」(※)の□にチェックが入っているが、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」の添付がない。

(※)「自己の計算～とする者」とは、自ら不動産を取得する意図の下で、あなたに対し資金提供をして入札をさせ、不動産を取得しようとしている者のことをいいます。

例1) Bは物件を取得したいと考えたが、自らは入札せずA(あなた)に資金を提供し、Aが入札した。

→Bは「自己の～とする者」に該当する。

例2) Aは物件を取得したいと考えて、金融機関Cから融資を受け、Aが入札した。

→Cは「自己の～とする者」に該当しない。

- 2 売却決定期日は、同法68条の4により、最高価買受申出人が暴力団員等に該当するか否かを警察へ照会した場合には、**2週間程度延期**する場合があります。

- 3 入札に当たってご不明な点は、当庁執行官室(☎011-281-3535)に直接お問い合わせいただくか、不動産競売物件情報(通称BIT)サイトのトップ画面「手続案内」でご確認ください。

札幌地方裁判所民事第4部不動産競売係

物 件 明 細 書

令和 8年 9月18日

札幌地方裁判所民事第4部

裁判所書記官 村 井 緑

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意

味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
このほか、B I Tシステムのお知らせメニューにも登載されています。



物 件 目 録

- | | | | |
|---|-------|---------------------|------------------|
| 1 | 所 在 | 苫小牧市青雲町一丁目 | |
| | 地 番 | 4 番 2 2 | |
| | 地 目 | 宅地 | |
| | 地 積 | 2 4 7 . 9 5 平方メートル | |
| 2 | 所 在 | 苫小牧市青雲町一丁目 4 番地 2 2 | |
| | 家屋 番号 | 4 番 2 2 | |
| | 種 類 | 居宅 | |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき 2 階建 | |
| | 床 面 積 | 1 階 | 6 8 . 7 3 平方メートル |
| | | 2 階 | 6 6 . 2 4 平方メートル |

令和8年(ケ)第70009号

令和8年6月1日受理

令和8年6月22日提出

現況調査報告書

札幌地方裁判所

執行官 山 口 毅

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 苫小牧市青雲町一丁目

地 番 4 番 2 2

地 目 宅地

地 積 2 4 7 . 9 5 平方メートル

2 所 在 苫小牧市青雲町一丁目 4 番地 2 2

家屋 番号 4 番 2 2

種 類 居宅

構 造 木造合金メッキ鋼板ぶき 2 階建

床 面 積 1 階 6 8 . 7 3 平方メートル
2 階 6 6 . 2 4 平方メートル



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	苫小牧市青雲町一丁目4番23号		
土地	物件1		
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項	「その他の事項」のとおり		
建物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主である建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない { 種類： ☐ ある { 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項	「その他の事項」のとおり		
執行官保管の仮処分	☒ ない { 地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 ☐ ある { 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

■ 物件1について

- 1 本件土地と各隣地との地境には、土地建物位置関係図の示すとおり、境界標が埋設され、各土地の境界は明確になっている。
- 2 現場において、上記境界標の間を概測したところ、登記どおりの数値が確認できたが、正確には専門家による調査を要する。
- 3 本件土地の北西側において、市道に接面している。
- 4 本件土地の一部は、アスファルト舗装が敷設されている（写真1及び土地建物位置関係図各参照）。
- 5 本件土地の南東側隣接地（地番4番2）の樹木の枝が、本件土地に越境している（写真5参照）。

■ 物件2について

- 1 本件建物の状況については、内外部共に、全体的に概ね経年相応の損耗であり、特筆すべき汚損等は見られなかった。
- 2 ポーチがある（写真1及び間取図各参照）。

■ 本件建物の占有状況について

- 1 本件建物の表札はない。
- 2 所有者は、本件建物に居住している旨述べている。
- 3 破産管財人から電話聴取したところ、所有者との間で、本件建物の利用に関する取り決めはないとのことである。
- 4 以上により、本件建物の占有状況については、上記現場の状況等を総合勘案して、2枚目記載のとおりであると認定した。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調査の経過

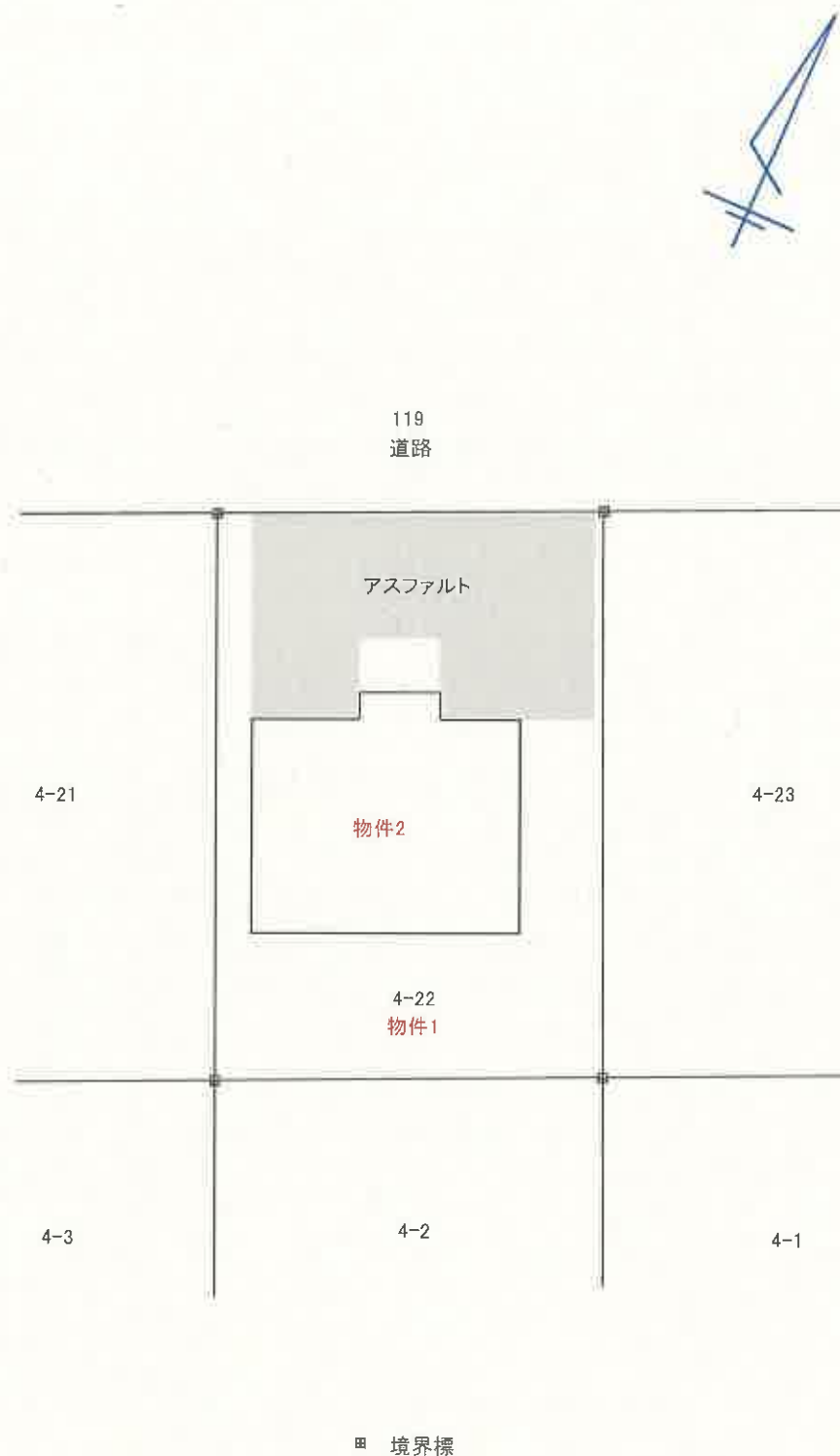
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
R 8 年 6 月 1 日 (月) : - :	当庁 (インターネ ット)	登記記録閲覧 (目的外建物及び附属建物の登記の有無)
R 8 年 6 月 1 日 (月) 1 6 : 5 7 - 1 7 : 0 0	電話	破産管財人から聴取
R 8 年 6 月 2 日 (火) 1 0 : 4 0 - 1 0 : 5 5	物件所在地	物件確認、所有者と面談
R 8 年 6 月 9 日 (火) 9 : 4 0 - 1 0 : 2 5	物件所在地	土地概測、立入調査 (所有者立会) 、写真撮影、評価人 同行
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		

(特記事項)

- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。
- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。
- ☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。
- ☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図



※概略図であり、実測に基づくものではありません。

縮尺約 1:250

間取図

物件2



1階



2階



縮尺 約1:100

1 建物外観



2 1階居間



3 1 階台所



4 1 階浴室



5 南東側隣接地（地番4番2）の樹木の枝の越境状況



令和8年（ケ）第70009号
令和8年6月9日 現地調査
令和8年6月22日 評 価

札幌地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

高 橋 総 生

第1 評価額

一括価格	
金24,220,000円	
内訳価格	
物件1（土地）	金1,090,000円
物件2（建物）	金23,130,000円

- 1 一括価格は、物件1及び2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は、物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の価格は、当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記と同じ

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	苫小牧市青雲町一丁目 4番22 宅地 247.95㎡	
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	苫小牧市青雲町一丁目 4番地22 4番22 居宅 木造合金メッキ鋼板ぶき 2階建 1階 68.73㎡ 2階 66.24㎡ 合計 134.97㎡	
番号	特 記 事 項		
	なし		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	J R 室蘭本線「錦岡」駅の北東方・道路距離約1.3 k m 最寄バス停「錦岡郵便局前」の南東方・道路距離約550m (別添位置図参照)	
付 近 の 状 況	戸建住宅が建ち並ぶ閑静な住宅地域。居住環境及び生活利便性は、普通程度の地域である。住宅需要は堅調で、地価はやや上昇している。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制)	都 市 計 画 区 分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他 の 規 制	市街化区域 第1種低層住居専用地域 40% 60% 建築基準法第22条指定区域 日影規制、景観計画区域、宅地造成等工事規制区域、 外壁の後退距離1m、建築物の高さ制限10m
画 地 条 件	・地積247.95㎡。間口約13.0m、奥行約19.0mの長方形の中間画地。画地内は概ね平坦。宅地面は隣接地とほぼ等高。 ・土地の一部がアスファルト舗装されている。	
接面道路の状況	下記の道路に概ね等高で接面する。 ・北西側幅員約6.5m舗装市道（建築基準法第42条1項1号該当）	
土地の利用状況等	物件2の建物の敷地として利用されている。	
供給処理施設	上 水 道 あり ガ ス 配 管 なし 下 水 道 あり	
特 記 事 項	1. 対象土地については、現地調査及び土地・建物登記簿による過去の履歴調査等の結果、土壌汚染の可能性は確認できなかった。但し、評価人としての調査は限界があるため、詳細については専門家による調査を要する。 2. 北海道教育委員会が公表している「北の遺跡案内」によると、対象土地は周知の埋蔵文化財包蔵地に指定されていない。 3. 境界標を4箇所確認した。法務局備付け図面等をもとに概測したところ、ほぼ登記どおりと思われるが、正確には専門家による測量を要する。 4. 南東側隣接地(地番4番2)の樹木の枝が、本件土地に越境している。	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載） 令和5年10月31日新築 経過年数 3年 経済的残存耐用年数 21年
仕 様	構 造：木造 屋 根：合金メッキ鋼板 外 壁：サイディング 内 壁：ビニールクロス等 天 井：ビニールクロス等 床 ：フローリング等 設 備：電気、給排水設備 その他：灯油ボイラー2台（給湯用及び暖房用）、IHクッキングヒーター、 輻射パネル式セントラルヒーティング
床面積（現況）	増 築：なし 床面積：第3目的物件記載のとおり
現況用途等	現況用途：居宅 間 取 り：4LDK＋納戸・ウォークインクローゼット・書斎・ドレッサースペース （間取図参照）
品 等	やや優る
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	現況調査報告書記載のとおり
特 記 事 項	1. 建物は経年相応の状態で、特筆すべき汚損、損傷等は見られなかった。 2. 本件建物は、建築確認申請及び工事完了検査は既済である。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡)	個別 格差	地 積 (㎡)	建付減価	建付地価格 (円)
	ア	イ	ウ	エ	ア×イ×ウ×エ=オ
1	9,200	1.00	247.95	1.00	2,281,000

ア 標準画地価格:第6参考価格資料記載の公示地あるいは基準地等との規準あるいは比準価格〔類似地域所在の取引事例価格〕等を比較考量の上、標準画地価格を上記のとおり査定した。

なお、舗装は、土地価格に含めて評価した。

イ 個別格差:なし

ウ 地 積:登記数量による。

エ 建付減価:敷地と建物との適応の状態を考慮し、減価を要しないと判断した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡)	現況延床面積 (㎡)	現価率	建物の価格 (円)
	ア	イ	ウ	ア×イ×ウ=エ
2	250,000	134.97	0.83	28,006,000

ウ 現価率:経過年数3年、経済的残存耐用年数21年、観察減価率は建物の状態を考慮して5%と判断し、下記により求めた。

$$\frac{\text{耐用年数法} \quad 21 \text{ 年}}{3 \text{ 年} + 21 \text{ 年}} \times (1 - 0.05) = 0.83$$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ＝ウ
1	2, 281, 000	0. 40	法定地上権	912, 000

イ 土地利用権等割合：法定地上権割合を40%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) (1(1)オ, 1(2)エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	その他の 控除減価 (敷金等) カ	評価額 (円) (ア±イ)×ウ ×エ×オーカ
1	2, 281, 000	－912, 000		1. 00	0. 80	－	1, 090, 000
2	28, 006, 000	＋912, 000	－	1. 00	0. 80	－	23, 130, 000
一括価格 (合計)							24, 220, 000

ウ 占有減価修正：なし

エ 市場性修正：現下の社会的・経済的情勢に基づく中古不動産の取引動向等を考慮したところ、修正を要しないと判断した。

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

カ その他の控除減価（敷金等）：なし

第6 参考価格資料

地価調査価格(苫小牧-7)

所 在：苫小牧市青雲町2丁目325番41 「青雲町2-22-2」
価 格：9,200円／㎡
位 置：J R「錦岡」駅から道路距離約1.3kmに位置する
価 格 時 点：令和7年7月1日
地 積：198㎡
供給処理施設：水道、下水
接 面 街 路：南東側8m市道
用 途 指 定 等：第2種住居地域（建ぺい率60%、容積率200%）
地 域 の 概 要：中規模一般住宅が建ち並ぶ道道背後の既成住宅地域

固定資産税評価額（令和8年度）

物件1 1,371,163円
物件2 9,463,395円

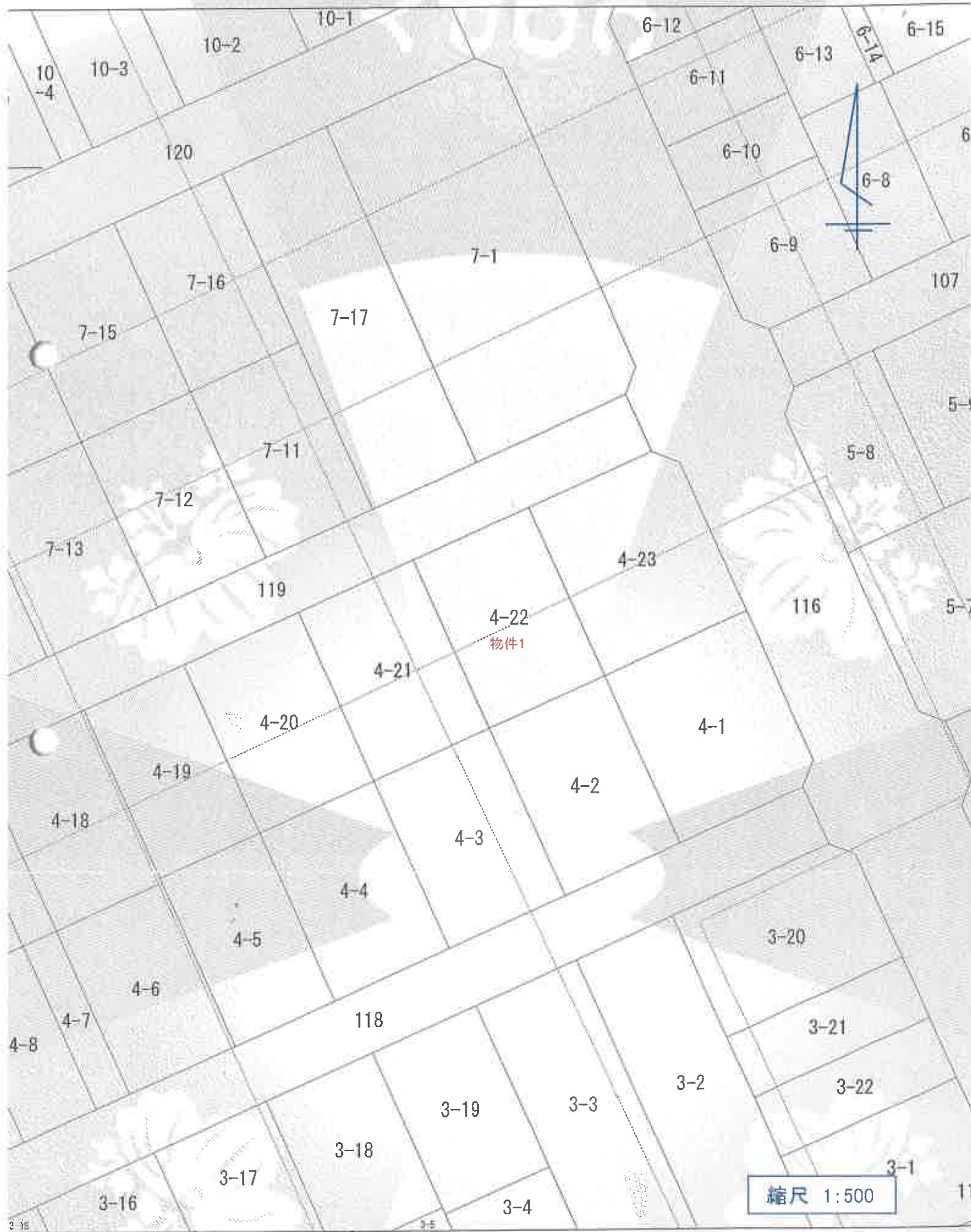
第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 閉鎖された公図写
- 4 建物図面・各階平面図
- 5 土地建物位置関係図
- 6 間取図

以 上



苫小牧市役所
都市計画基本図
縮尺 1:10,000



閉鎖された公図写

町 1 丁目



縮尺 1:500

登記年月日：令和5年11月2日

これは図面に記録されている内容を証明
令和8年4月14日 札幌法務局苫小牧支局

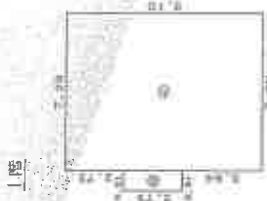
各階平面図

建物図面

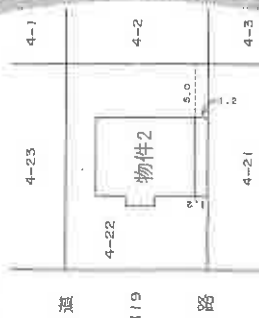
図番号	4番22
建物の所在	苫小牧市青雲町1丁目4番地22

物件2

1階	求積表
①	7.29 × 9.10
②	0.91 × 2.73
	66,246,000
	2,410,000
計	68,732,000
床面積	68.73 m ²



2階	求積表
①	7.29 × 9.10
	66,246,000
床面積	66.24 m ²



本図面はA3判をA4判に縮小したものである

作成者

印

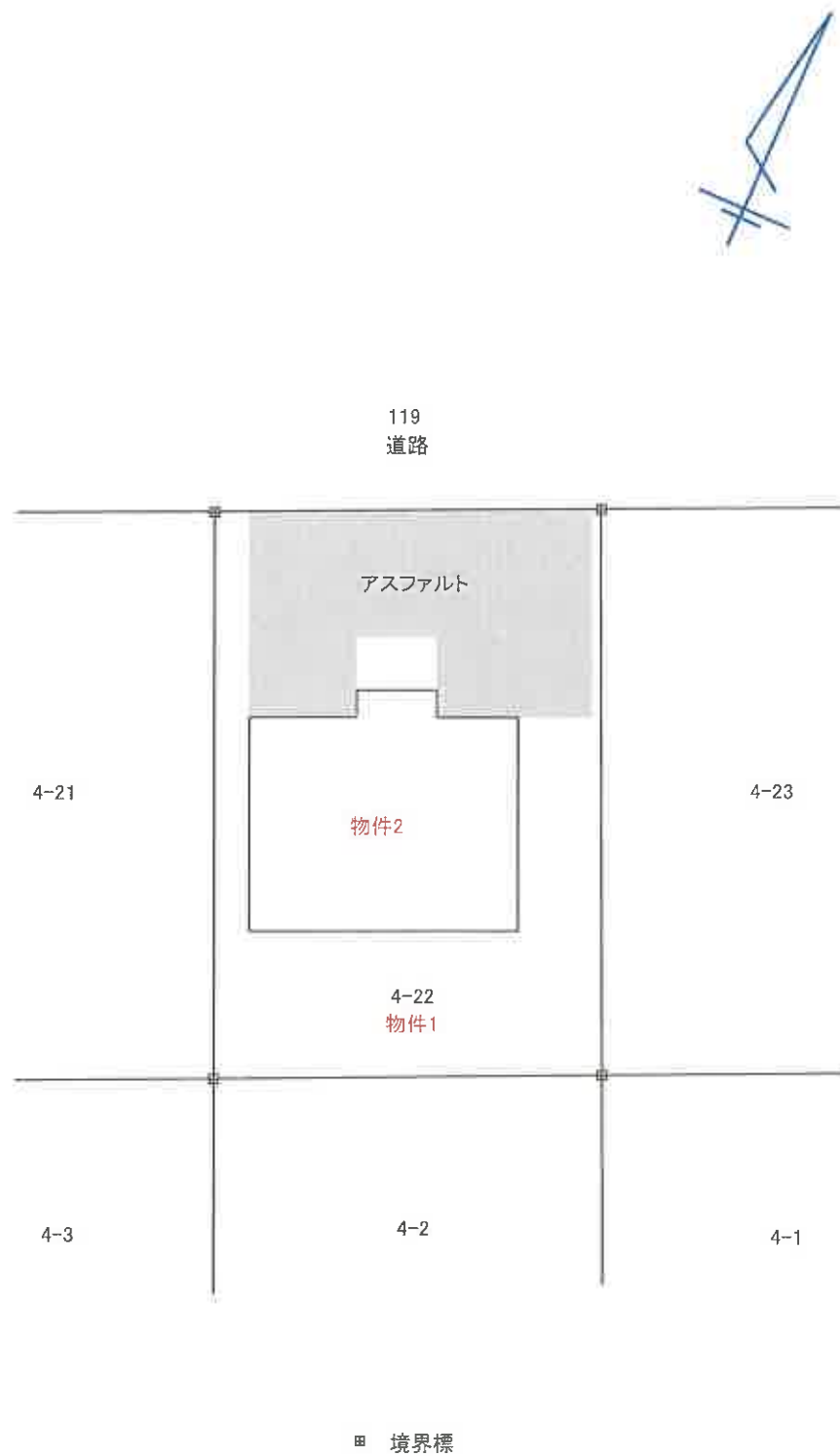
住所

申請人

縮尺

1/500
1/

土地建物位置関係図



※概略図であり、実測に基づくものではありません。

縮尺約 1:250

間取図

物件2



1階



2階



縮尺 約1:100